

第5次夢育て・たちかわ子ども21プラン 市民意向調査結果 (速報)

1

※集計数値は令和6年3月13日時点のものであり、今後変更する可能性があります

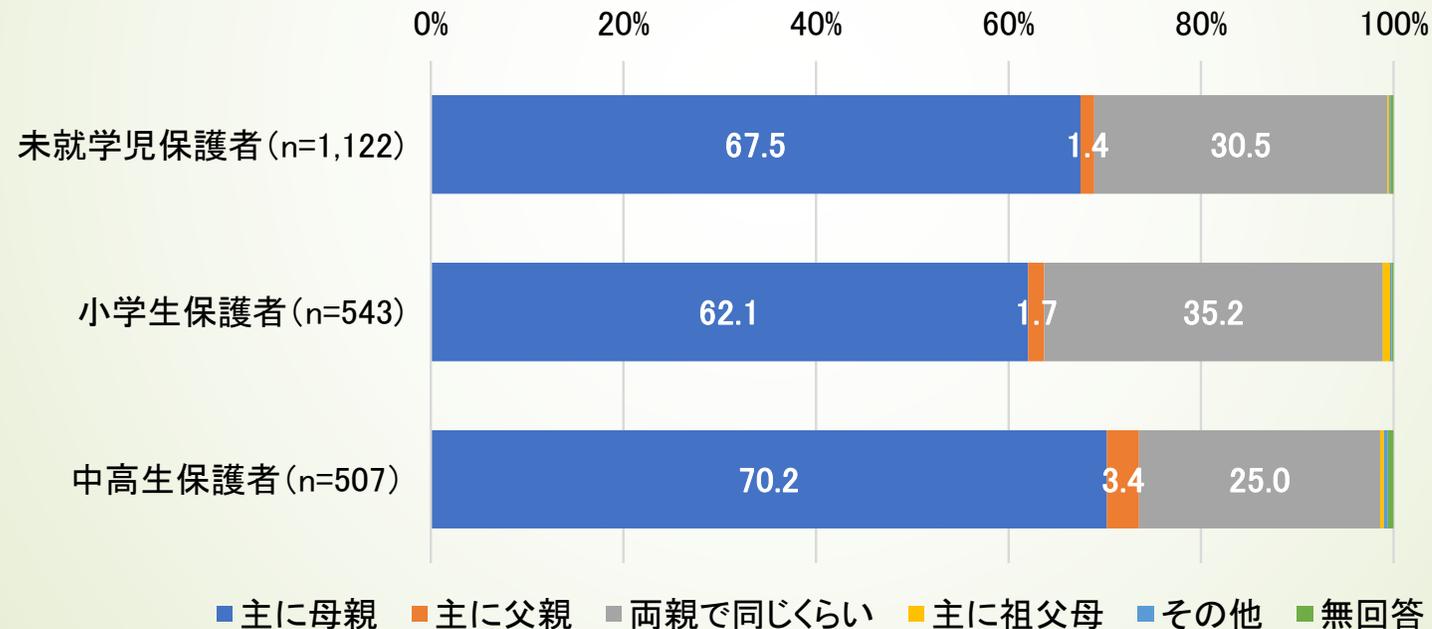
調査結果概要

- ▶ 調査の方法：調査票の郵送・回収、WEB併用（礼状兼督促状1回）
- ▶ 調査期間：令和6年1月22日～同年2月7日
- ▶ 発送・回収状況

区分	調査対象	方法	配布件数	有効配布数 (不在返送数を除く)	回収件数 ()内はWEB	回収率	(参考) 前回回収率
様式1	就学前児童の保護者	郵送・WEB	2,000	1,999	1,122 (575)	56.1%	59.8%
様式2	小学生の保護者	郵送・WEB	1,000	1,000	543 (283)	54.3%	57.4%
様式3	中学生・高校生世代の保護者	郵送・WEB	1,000	999	507 (242)	50.8%	53.7%
様式4	小学5年生子ども本人	WEBのみ	222	222	153 (153)	68.9%	91.3%
様式5	中学2年生子ども本人	WEBのみ	270	270	142 (119)	30.2%	66.6%
	高校2年生世代子ども本人	郵送・WEB	200	200			
様式6	ひとり親家庭の保護者	郵送・WEB	400	400	166 (89)	41.5%	37.3%
		合計	5,092	5,090	2,633 (1,461)	51.7%	58.4%

子育てを主に行っている方

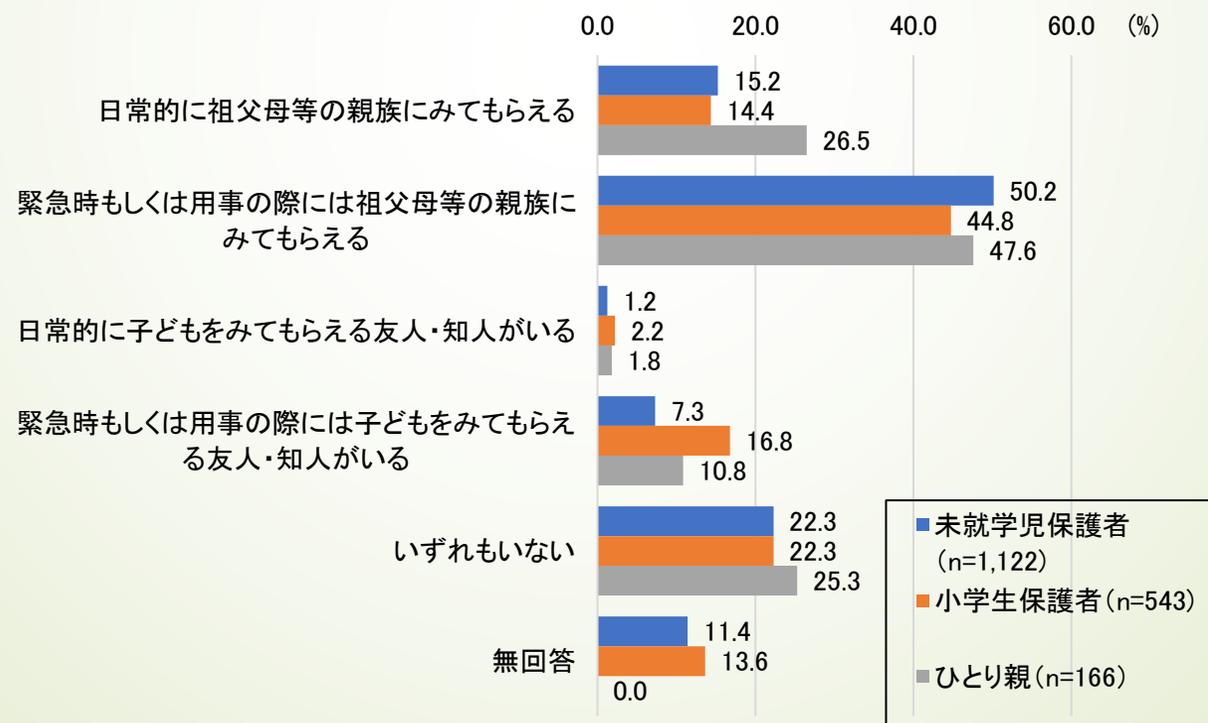
- いずれも「主に母親」が多くなっています。
- 中高生保護者は「両親で同じくらい」が3種の中で最も低くなっています。



注：回答者の割合が小さい項目については、数値を提示していません（以下同様）。

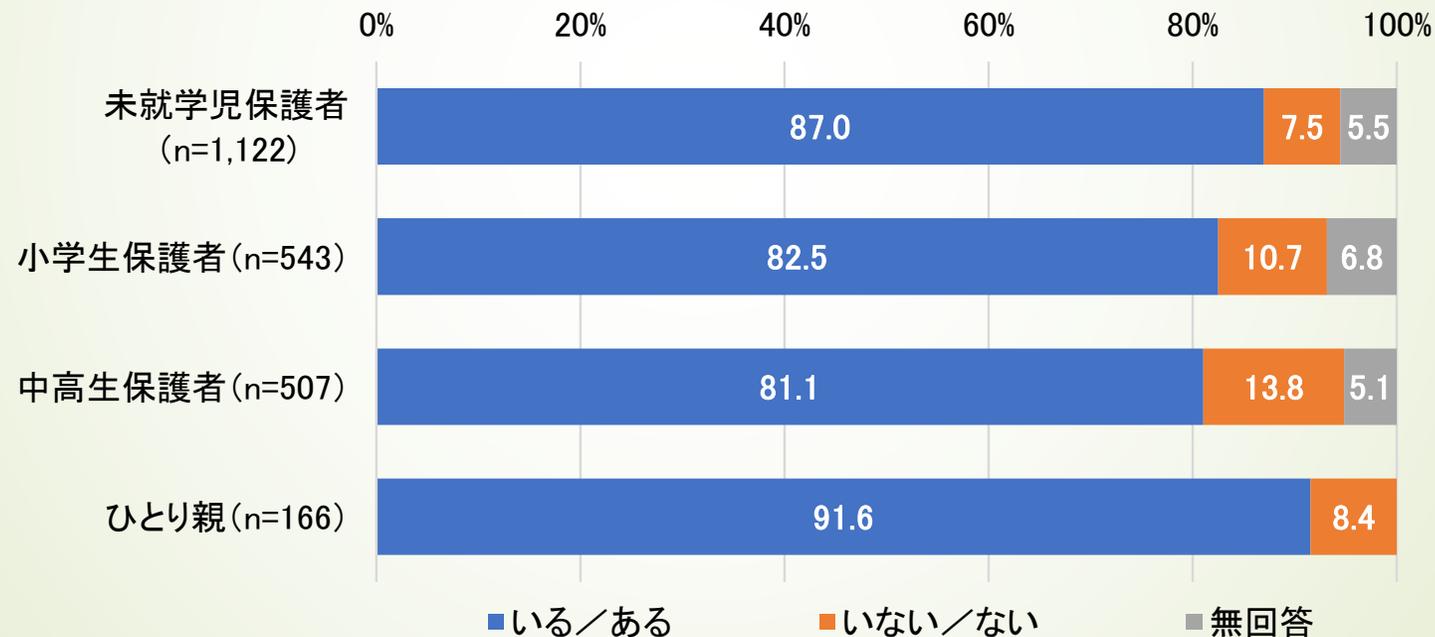
お子さんを見てもらえる親族・知人の有無

- いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多くなっています。
- ひとり親の方は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が他よりも10ポイント以上高くなっています。



子育てに関する相談相手の有無

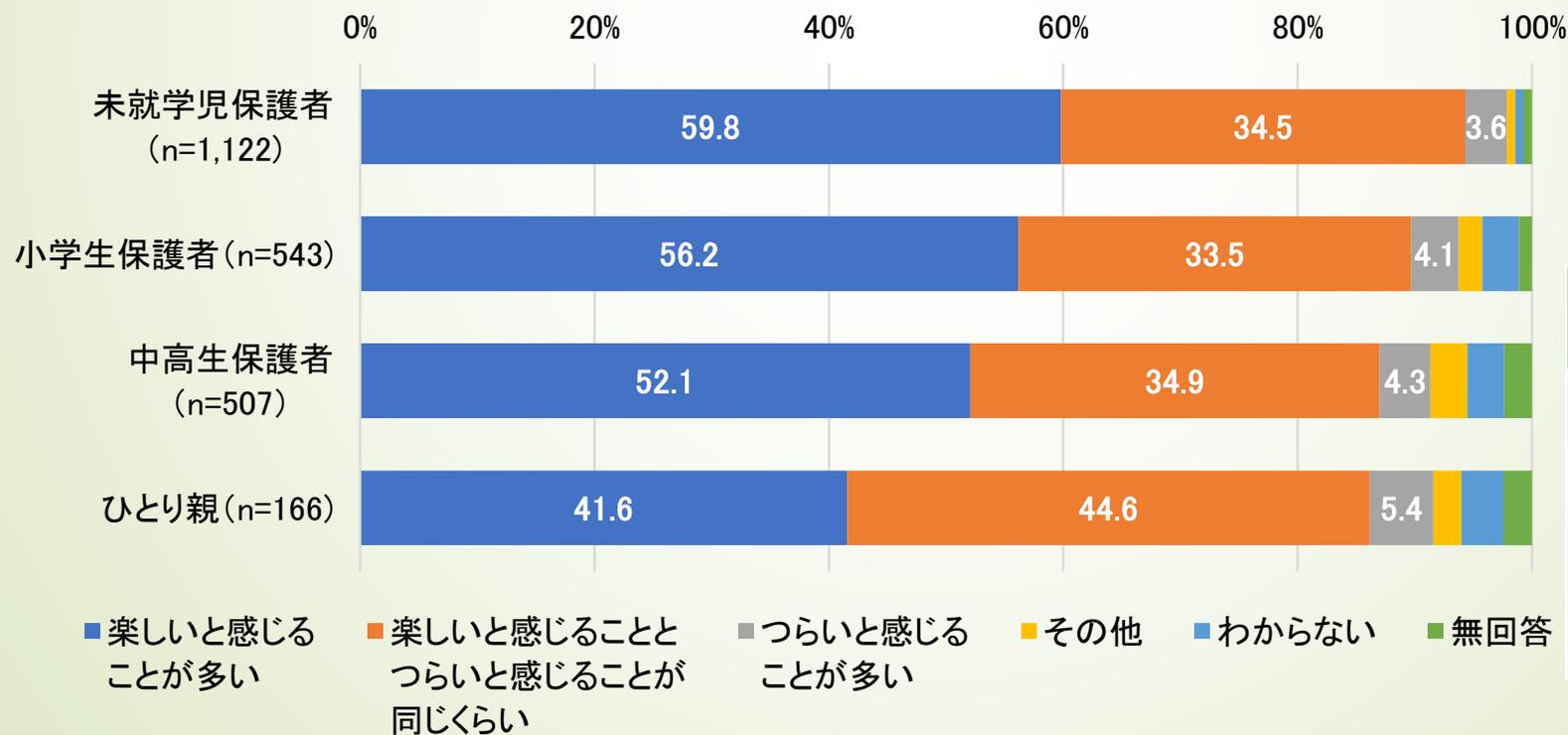
- ▶ 「いる／ある」はお子さんの年齢が高いほど低くなっています。
- ▶ 別設問でお伺いした、主な相談相手としては、ひとり親は「友人・知人」、それ以外は「配偶者」となっています。



※ひとり親への設問は他3種と異なりますが、相談相手を選択された方と「相談相手なし」から数値を割り出しています。

子育てを楽しんでいるか

- ▶ 最も多いのは、ひとり親は「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」、それ以外は「楽しいと感じることが多い」となっています。
- ▶ 「楽しいと感じることが多い」の割合は、お子さんの年齢が高いほど小さくなっています。



(参考：前回調査)
「楽しいと感じることが多い」

未就学児保護者	59.4%
小学生保護者	55.9%
中高生保護者	51.3%
ひとり親	43.6%

お子さんについて困ったり悩んでいること

- 順位は、お子さんの年齢によって異なる傾向にあります。
- お子さんの年齢が高くなるにつれて、学習や進路の悩みの割合が高くなっています。また、「スマートフォン等でのSNSやゲームの使い方」も小学生以降から上位にランキングしています。

<困ったり悩んだりしたことが「ある」と答えた人の割合が高い項目>

()内は%

	未就学児保護者 (n=1,112)	小学生保護者 (n=543)	中高生保護者 (n=507)	ひとり親保護者 (n=166)
1位	子育てによる身体の疲れが大きい (47.5)	スマートフォン等でのSNSやゲームの使い方 (53.4)	子どもの進路 (63.3)	子どもの学習や成績/ 子どもの進路/ スマートフォン等でのSNSや ゲームの使い方 (57.2)
2位	日常生活でのしつけや常識 (46.9)	家での態度 (言葉づかい、遊び、生活時間) (53.0)	スマートフォン等でのSNSやゲームの使い方 (59.2)	
3位	子育てで仕事や用事が十分にできない (44.2)	子どもの学習や成績 (50.8)	子どもの学習や成績 (54.8)	
4位	家での態度 (言葉づかい、遊び、生活時間) (43.3)	日常生活でのしつけや常識 (46.8)	子どもの生活習慣 (45.6)	家での態度 (言葉づかい、遊び、生活時間) (56.0)
5位	子育てによる精神的な疲れが大きい (42.2)	子どもの進路 (44.0)	家での態度 (言葉づかい、遊び、生活時間) (40.6)	子どもの生活習慣 (53.6)

子育てをしやすい社会に必要だと考えられること

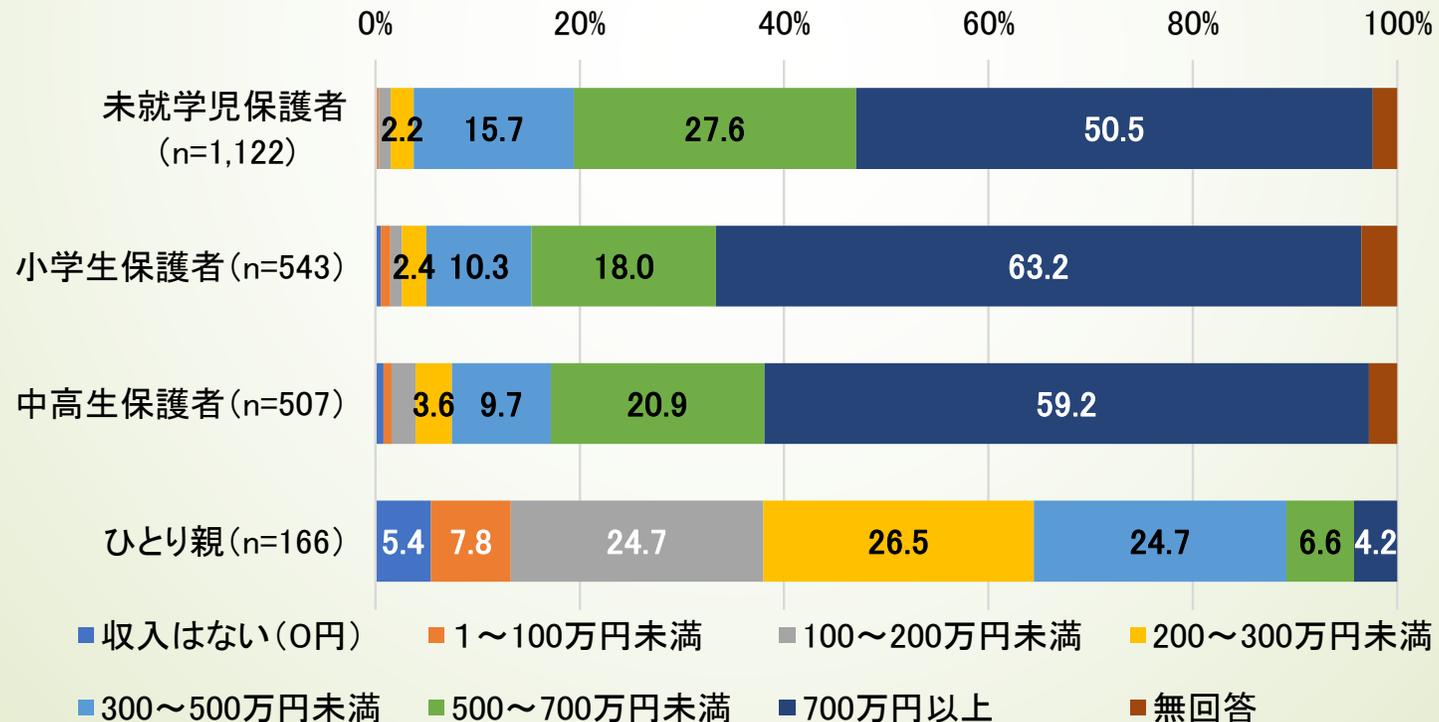
- いずれも「児童手当など、子育てに関する経済的な支援の充実」が最も多くなっています。
- 次いで「安定した雇用と収入」、「保護者の経済状態によらず、高校・大学などへ進学ができる支援の充実」が2、3位となっています。

()内は%

	未就学児保護者 (n=1,112)	小学生保護者 (n=543)	中高生保護者 (n=507)	ひとり親保護者 (n=166)
1位	児童手当など、子育てに関する経済的な支援の充実 (69.8)	児童手当など、子育てに関する経済的な支援の充実 (64.3)	児童手当など、子育てに関する経済的な支援の充実 (54.0)	児童手当など、子育てに関する経済的な支援の充実 (75.3)
2位	安定した雇用と収入 (42.4)	安定した雇用と収入 (48.8)	保護者の経済状態によらず、高校・大学などへ進学ができる支援の充実 (51.5)	保護者の経済状態によらず、高校・大学などへ進学ができる支援の充実 (55.4)
3位	保護者の経済状態によらず、高校・大学などへ進学ができる支援の充実 (30.0)	保護者の経済状態によらず、高校・大学などへ進学ができる支援の充実 (44.2)	安定した雇用と収入 (45.4)	安定した雇用と収入 (51.2)
4位	労働時間の短縮 (28.9)	遊び場(公園、プレイパーク、校庭開放など)の充実 (30.0)	中学生・高校生が利用できる魅力的な施設 (34.9)	子育てや子どもの発達などについて、気軽に相談できる窓口の整備 (24.1)
5位	出産一時金や不妊治療など、出産に関する経済的な支援の充実 (28.6)	夏休みなどの長期休業期間だけ子どもを預けられる事業の充実 (27.3)	医療機関情報の提供(小児科や産科、夜間・休日救急など) (19.5)	中学生・高校生が利用できる魅力的な施設 (23.5)

家計の状況：年間収入

- ▶ 最も多いのは、ひとり親は「200～300万円未満」、それ以外は「700万円以上」となっています。
- ▶ ひとり親は「収入はない(0円)」が約5%、その方々を含む200万円未満が約38%となっています。

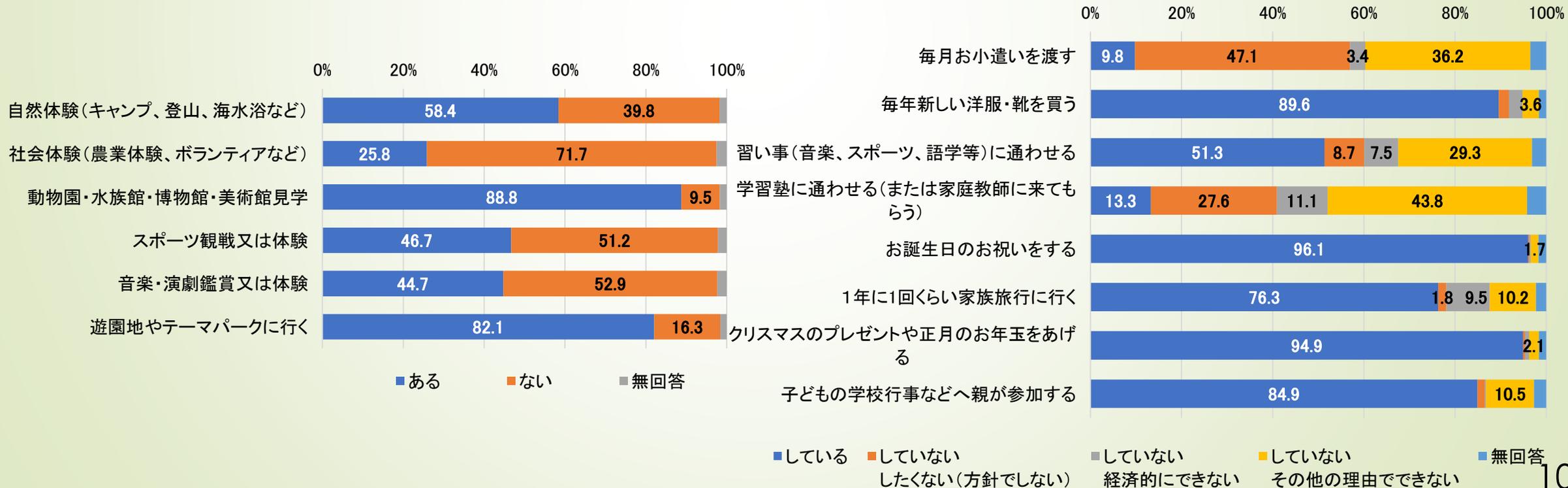


※調査でお伺いした選択肢をある程度まとめて集計しています。

家計の状況：体験・経験の有無(1/4)

- ➡ (左図)「ない」が最も多いのは「社会体験(農業体験、ボランティアなど)」
- ➡ (右図)「していない(経済的にできない)」が最も多いのは「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」

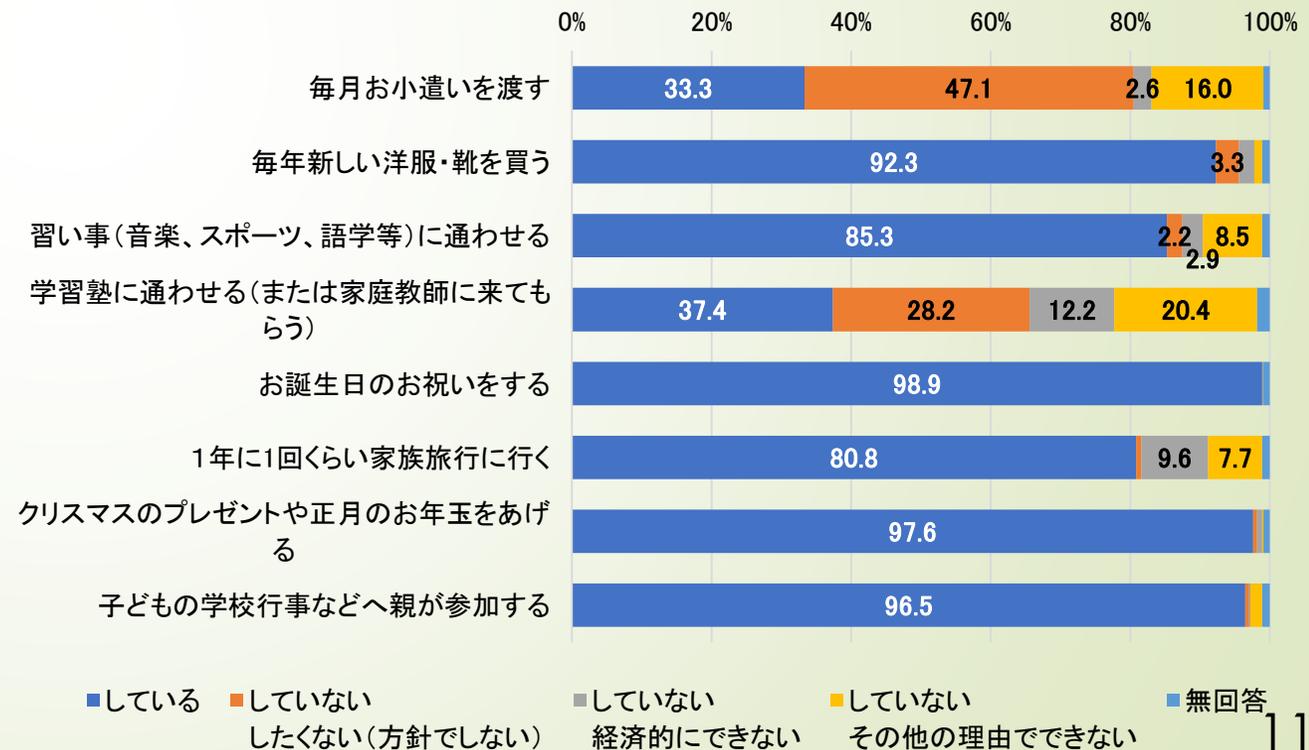
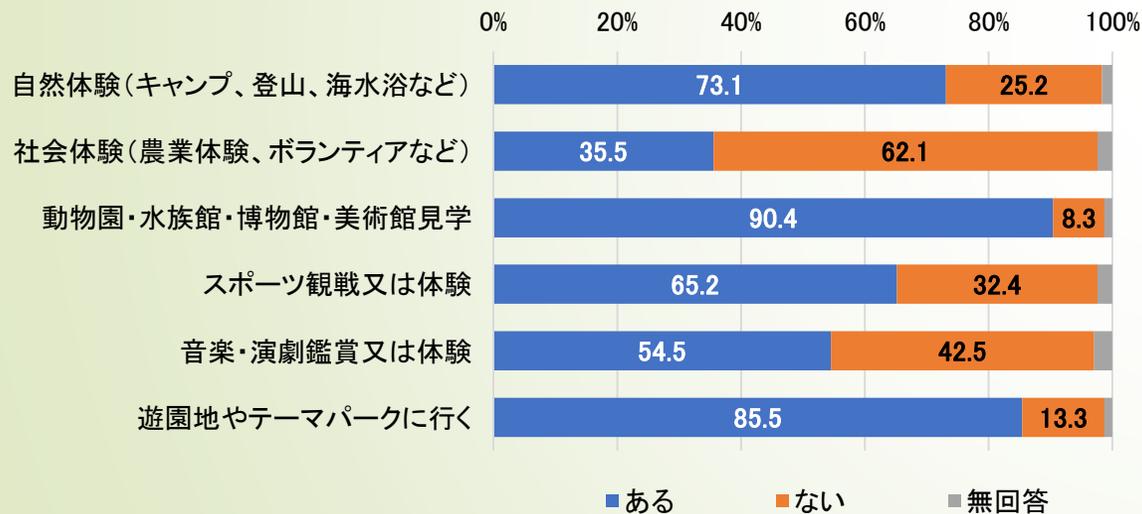
【就学前 (n=1,122)】



家計の状況：体験・経験の有無(2/4)

- ➡ (左図)「ない」が最も多いのは「社会体験(農業体験、ボランティアなど)」
- ➡ (右図)「していない(経済的にできない)」が最も多いのは「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」

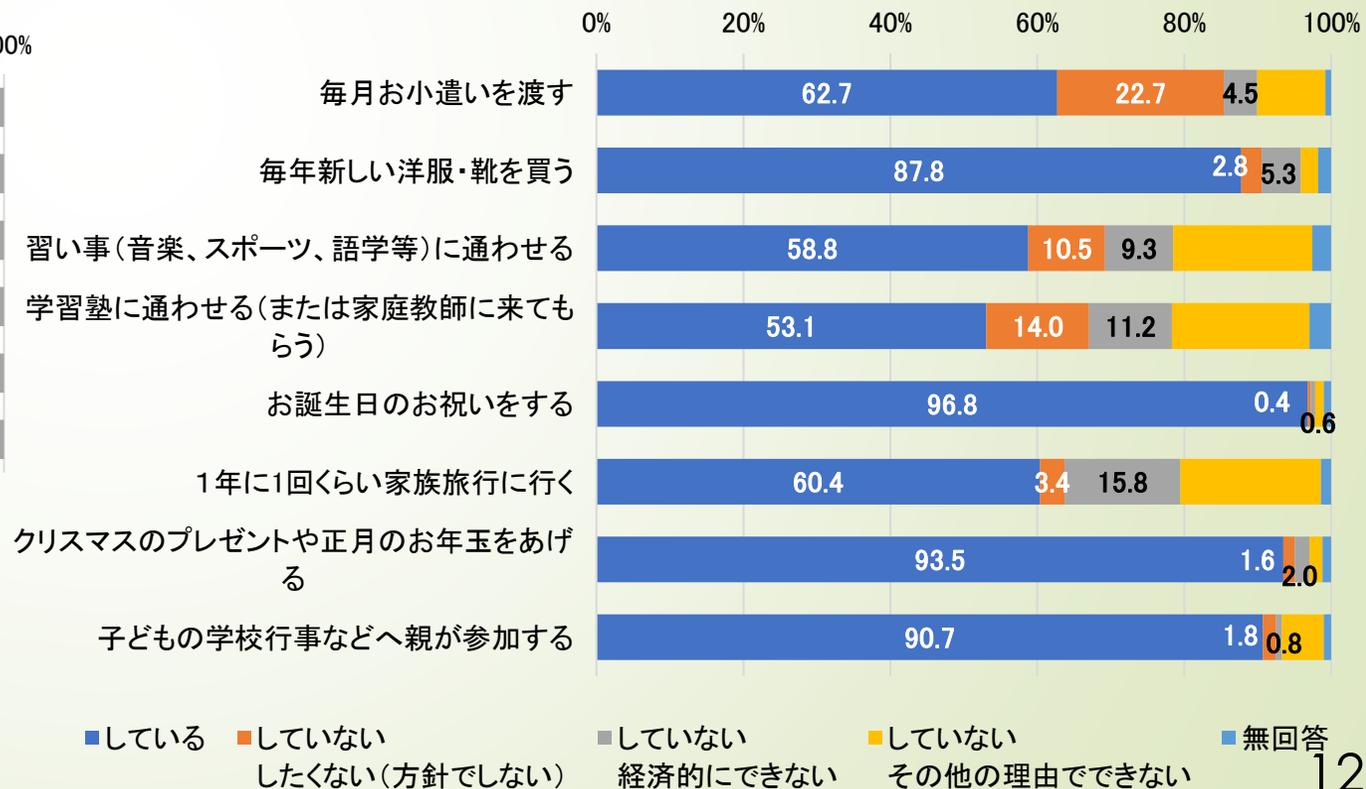
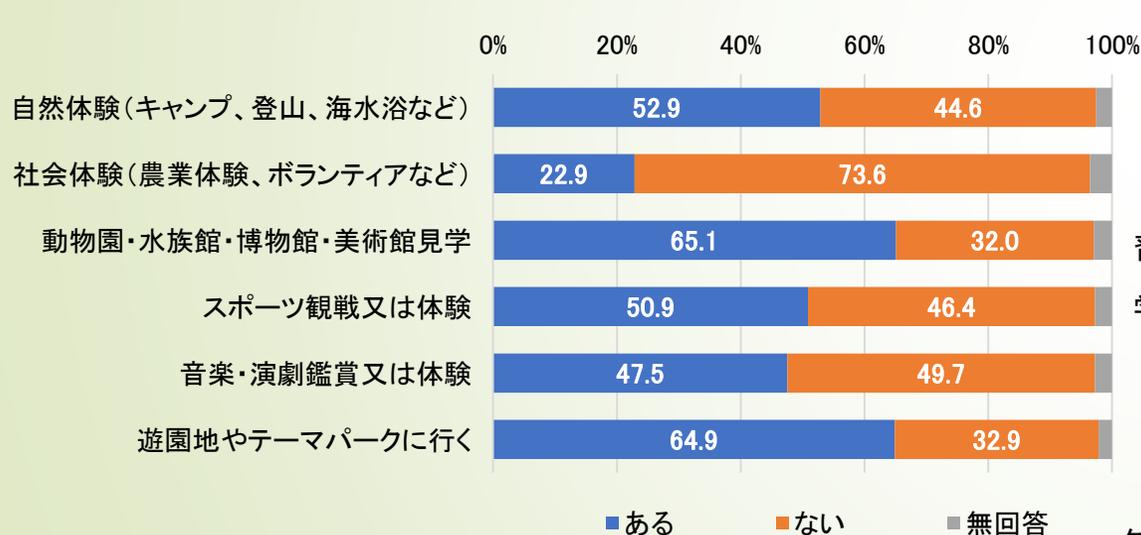
【小学生保護者 (n=543)】



家計の状況：体験・経験の有無(3/4)

- ➡ (左図)「ない」が最も多いのは「社会体験(農業体験、ボランティアなど)」
- ➡ (右図)「していない(経済的にできない)」が最も多いのは「1年に1回くらい家族旅行に行く」

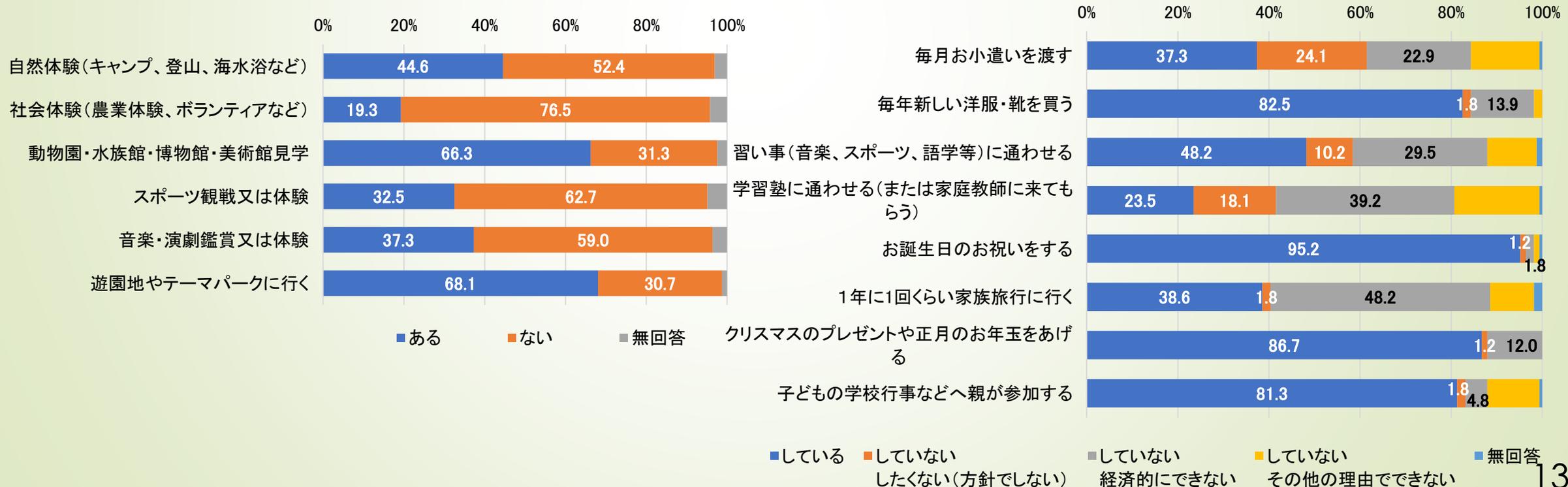
【中高生保護者 (n=507)】



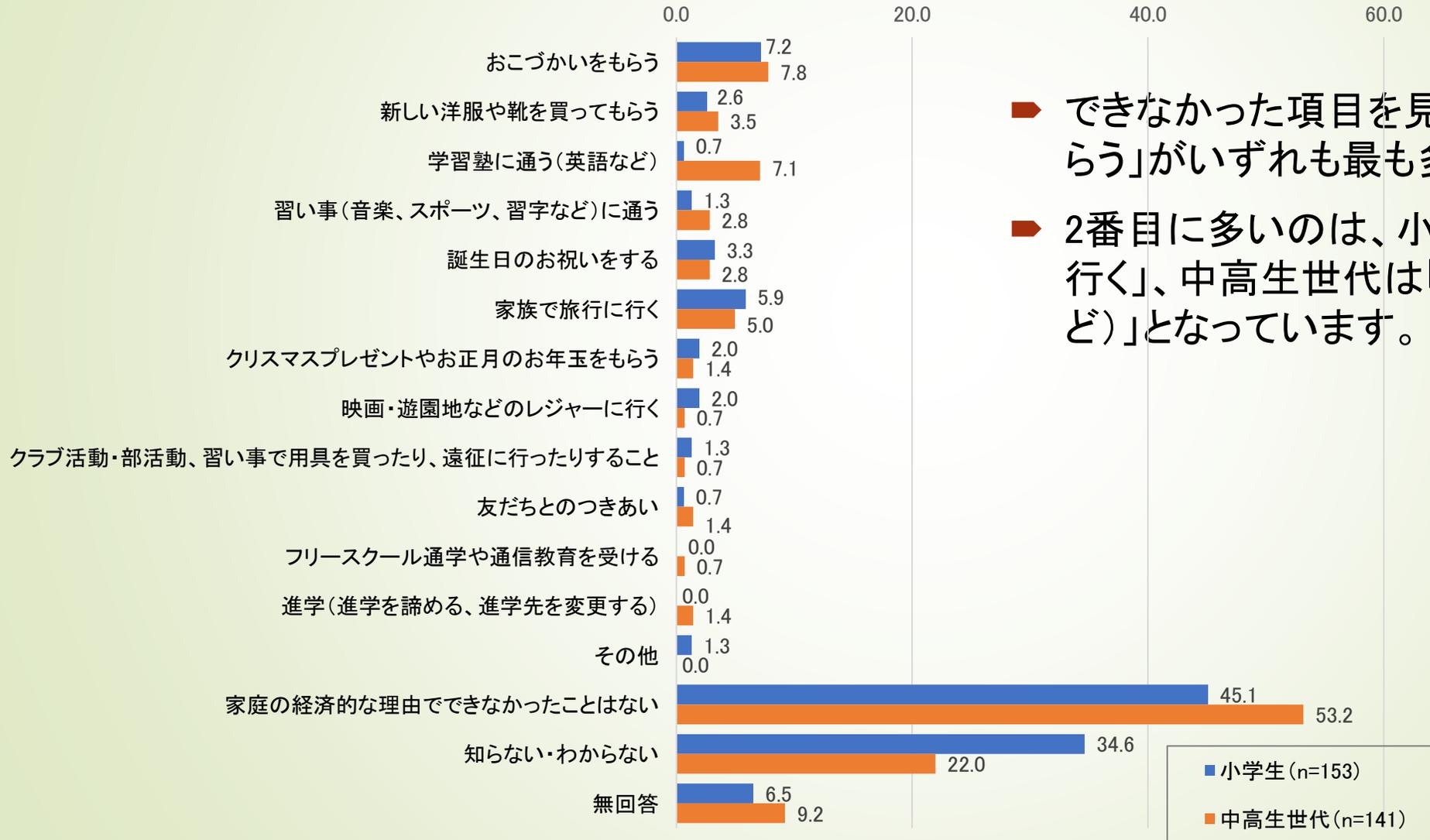
家計の状況：体験・経験の有無(4/4)

- ➡ (左図)「ない」が最も多いのは「社会体験(農業体験、ボランティアなど)」
- ➡ (右図)「していない(経済的にできない)」が最も多いのは「1年に1回くらい家族旅行に行く」
- ➡ (右図)ひとり親は他対象と比較して「していない(経済的にできない)」の割合が高くなっています。

【ひとり親 (n=166)】

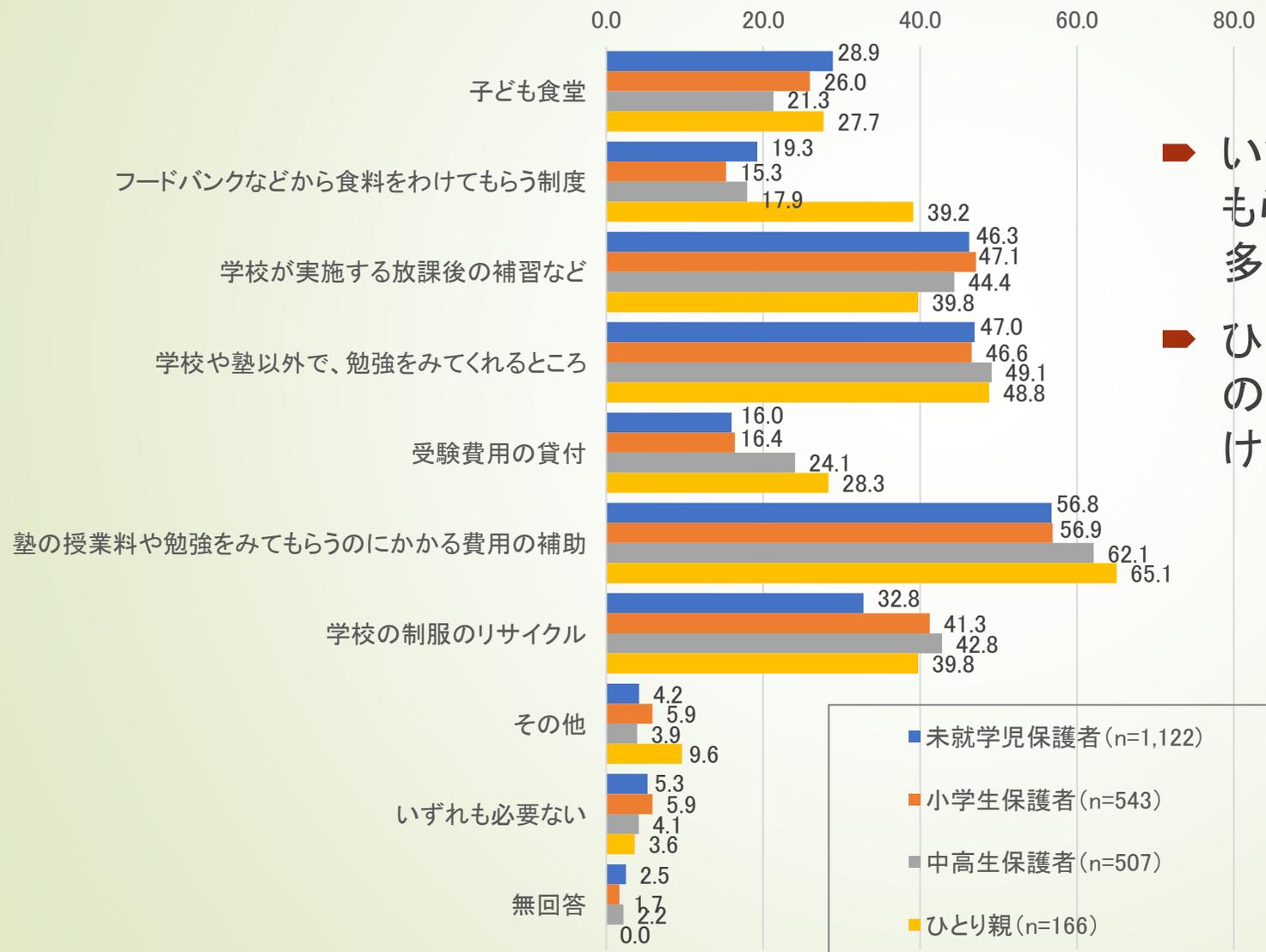


家庭の経済的な理由でできなかったこと



- できなかった項目を見ると、「おこづかいをもらう」がいずれも最も多くなっています。
- 2番目に多いのは、小学生は「家族で旅行に行く」、中高生世代は「学習塾に通う(英語など)」となっています。

必要な支援制度



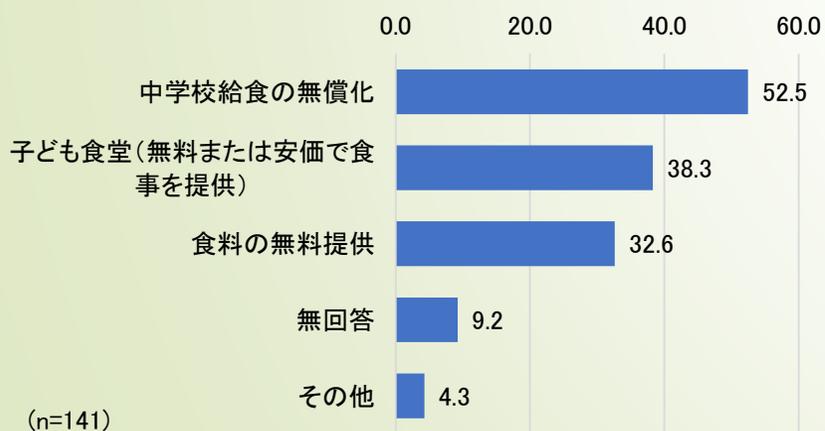
- ➡ いずれも「塾の授業料や勉強をみてもらうのにかかる費用の補助」が最も多くなっています。
- ➡ ひとり親の方が他対象より特に多いのは「フードバンクなどから食料をわけてもら制度」となっています。

必要な支援制度

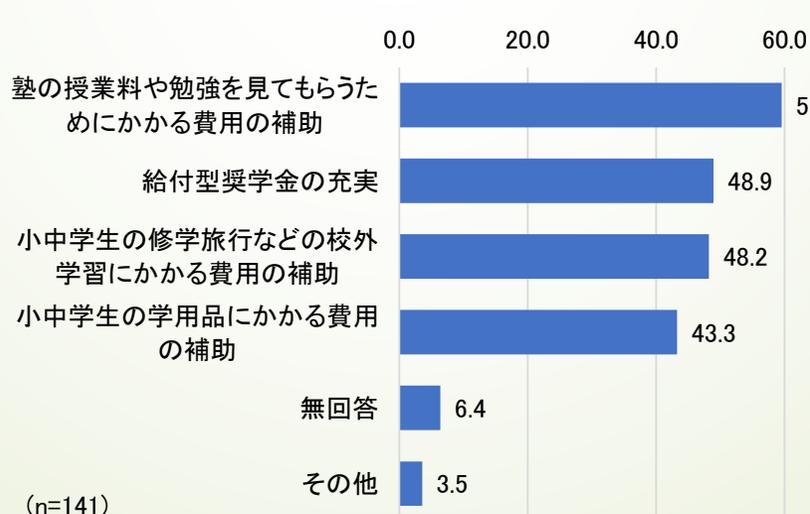
以下は最も多く、過半数となっています。

- 食に関すること:「中学校給食の無償化」
- 教育に関すること:「塾の授業料や勉強を見てもらうためにかかる費用の補助」
- その他生活関連:「子どもが自由に過ごすことができる場所の提供」

<食に関すること>



<教育に関すること>

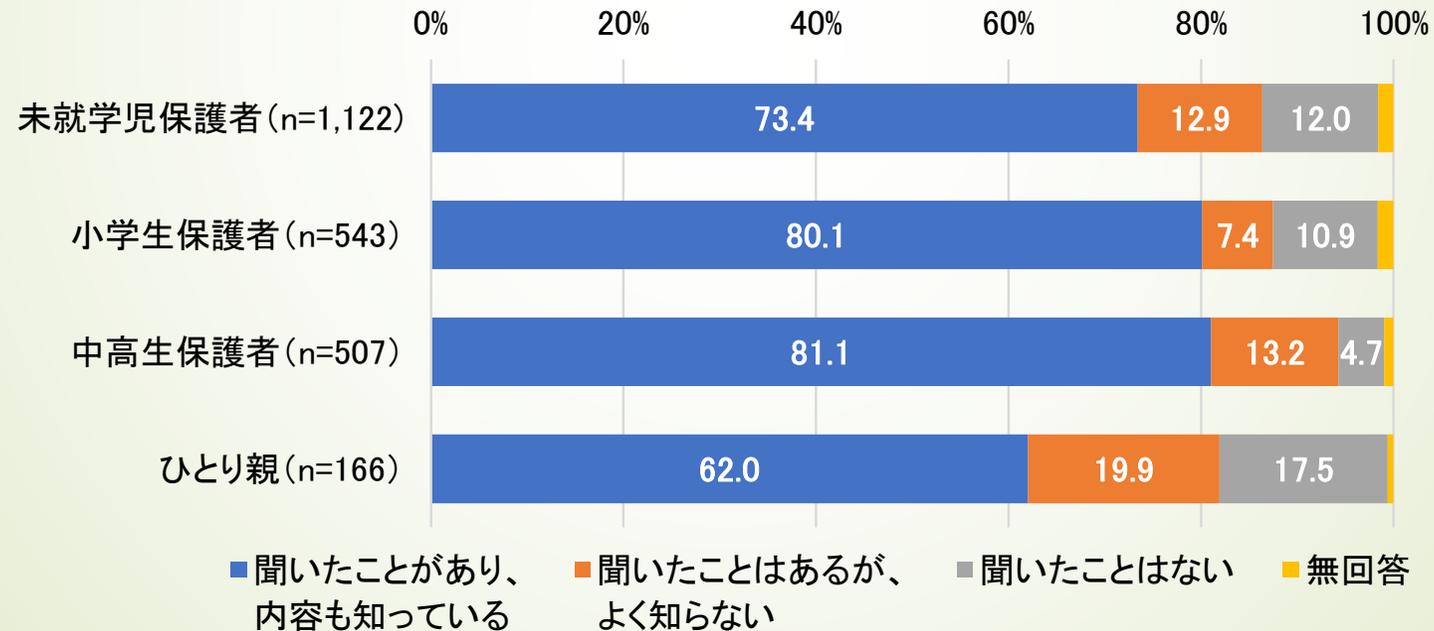


<その他生活関連>

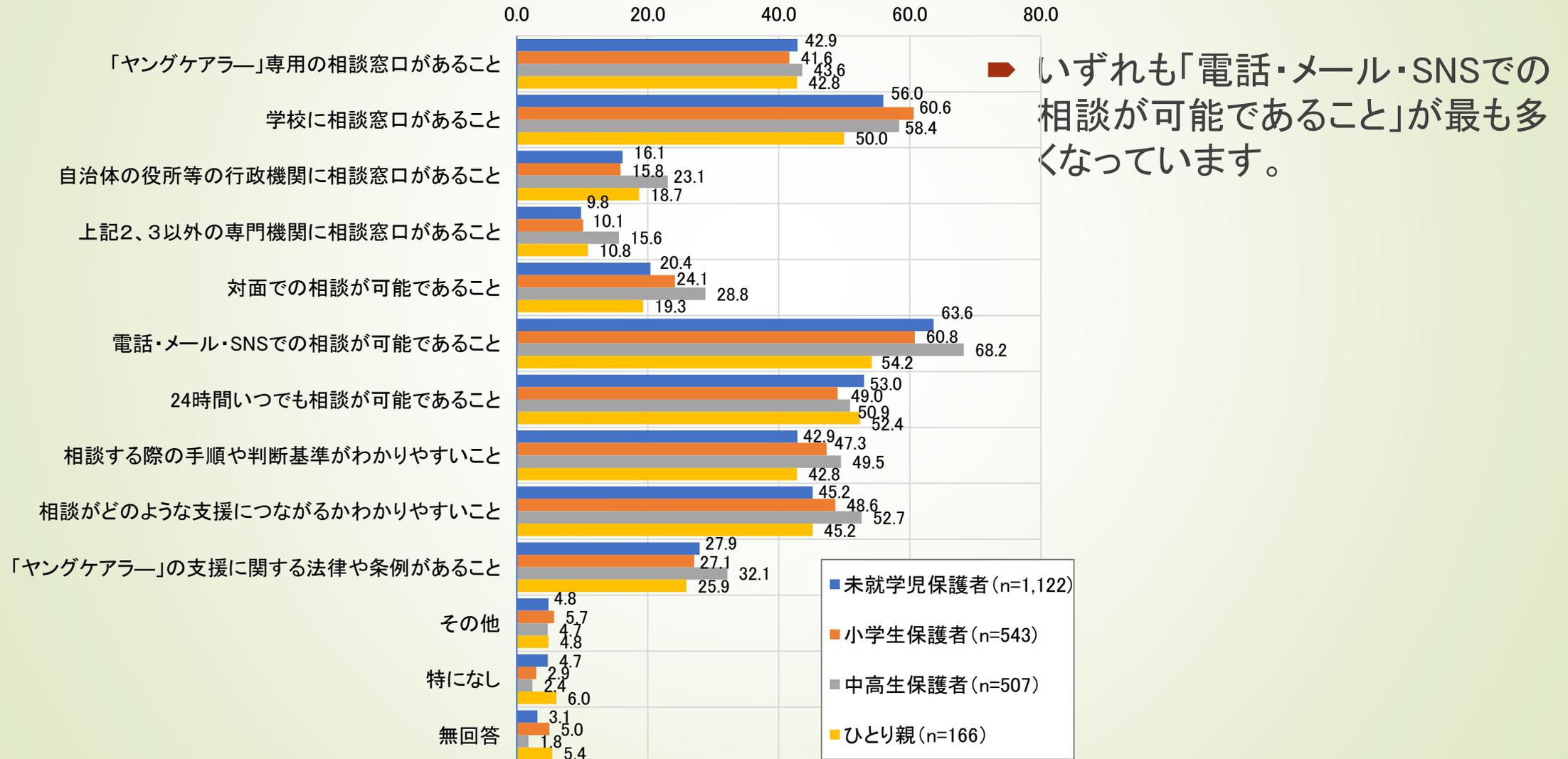


「ヤングケアラー」という言葉の認知状況

- ➡ いずれも「聞いたことがあります、内容も知っている」が最も多くなっていますが、ひとり親の方の割合は例えば中学生保護者の方の割合よりも約19ポイント低くなっています。

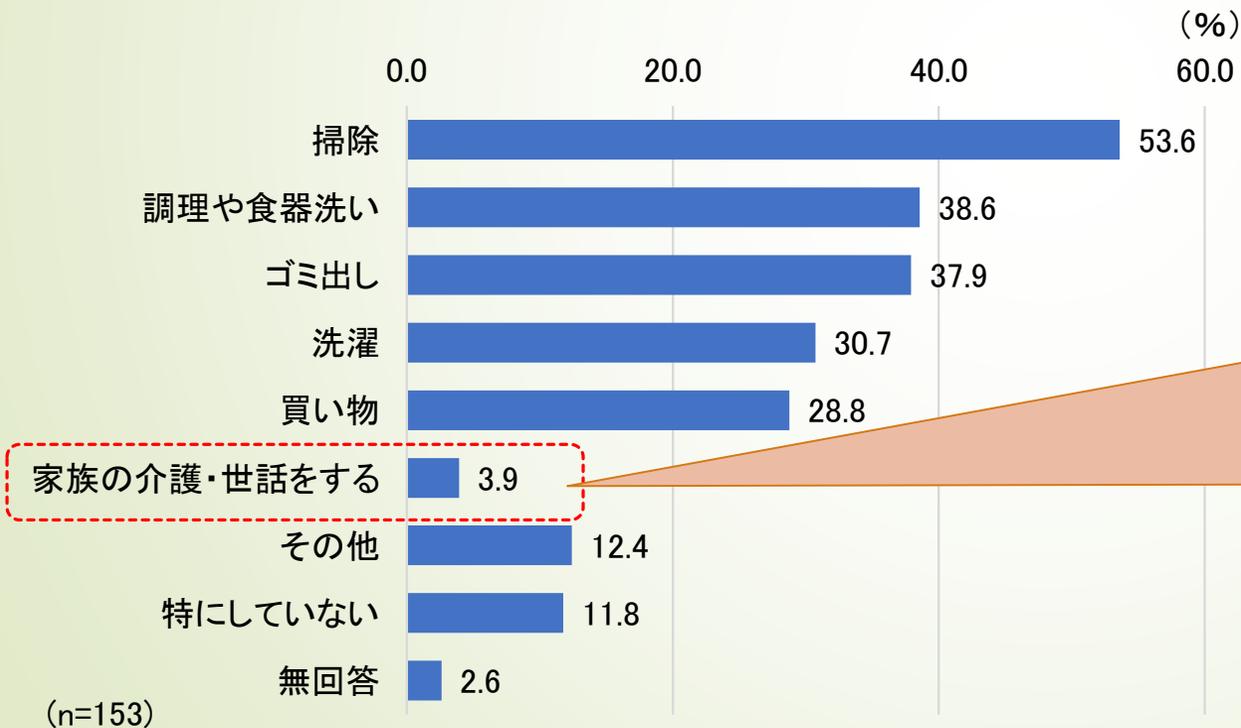


ヤングケアラーと思われる子どもへの支援



手伝いの状況、必要な支援(1/2)

- 小学生で「家族の介護・世話をする」と回答した人は3.9%(6人)。
- うち、1人は1日あたり、5~7時間従事していると回答。
- 大人にしてもらいたいことは「自由に使える時間がほしい」(1人)。

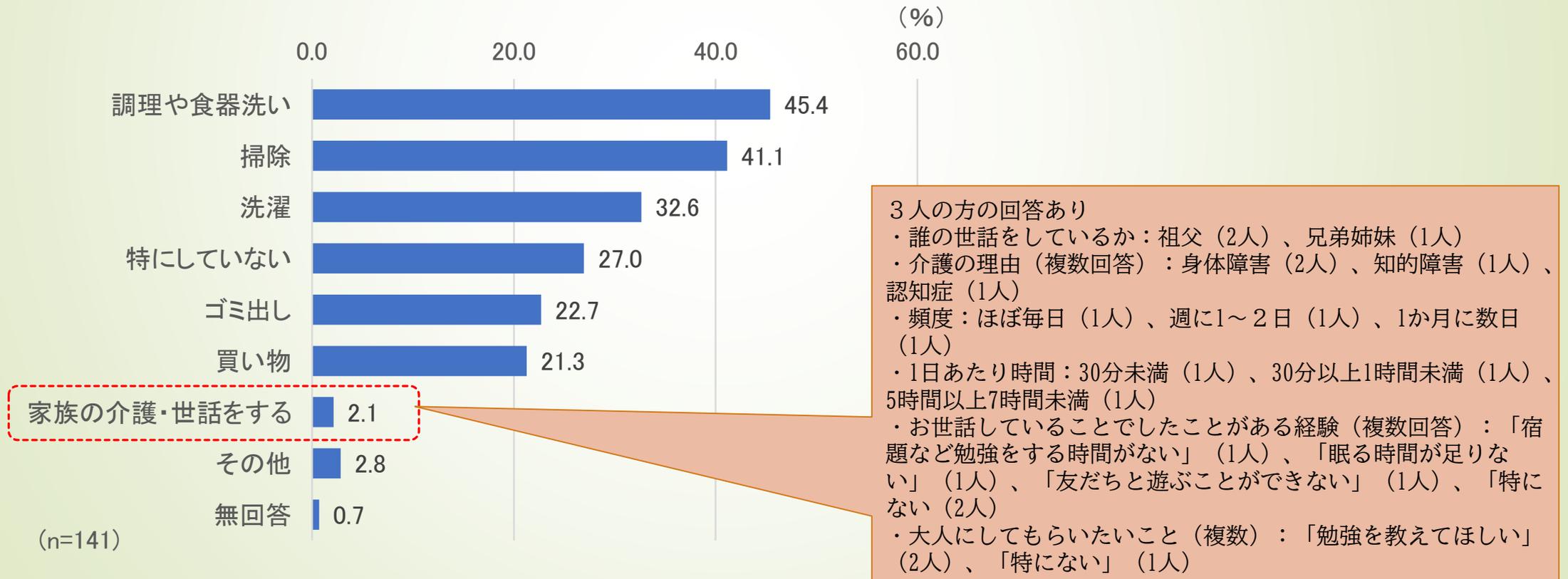


6人の方の回答あり

- ・誰の世話をしているか：母(2人)、祖母(1人)、兄弟姉妹(1人)
- ・介護の理由(複数回答)：高齢(1人)、認知症(1人)、身体障害(1人)
- ・頻度：ほぼ毎日(3人)、週に3~5日(2人)、週に1~2日(1人)
- ・1日あたり時間：30分未満(1人)、30分以上1時間未満(3人)、1時間以上2時間未満(1人)、5時間以上7時間未満(1人)
- ・大人にしてもらいたいこと(複数)：「自由に使える時間がほしい」(1人)、「特にない」(5人)

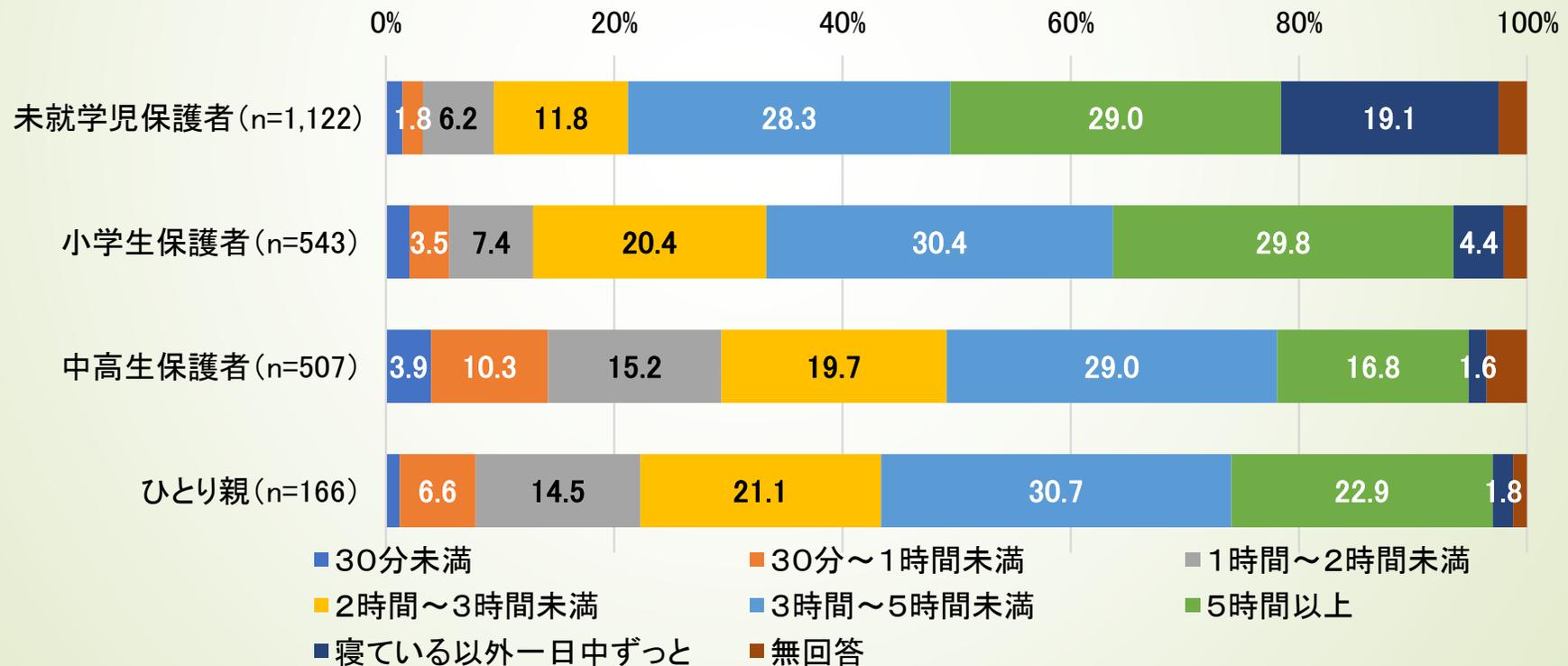
手伝いの状況、必要な支援(2/2)

- 中高生世代で「家族の介護・世話をする」と回答した人は2.1%(3人)。
- うち、1人は1日あたり、5~7時間従事していると回答。
- 大人にしてもらいたいことは「勉強を教えてほしい」(1人)。



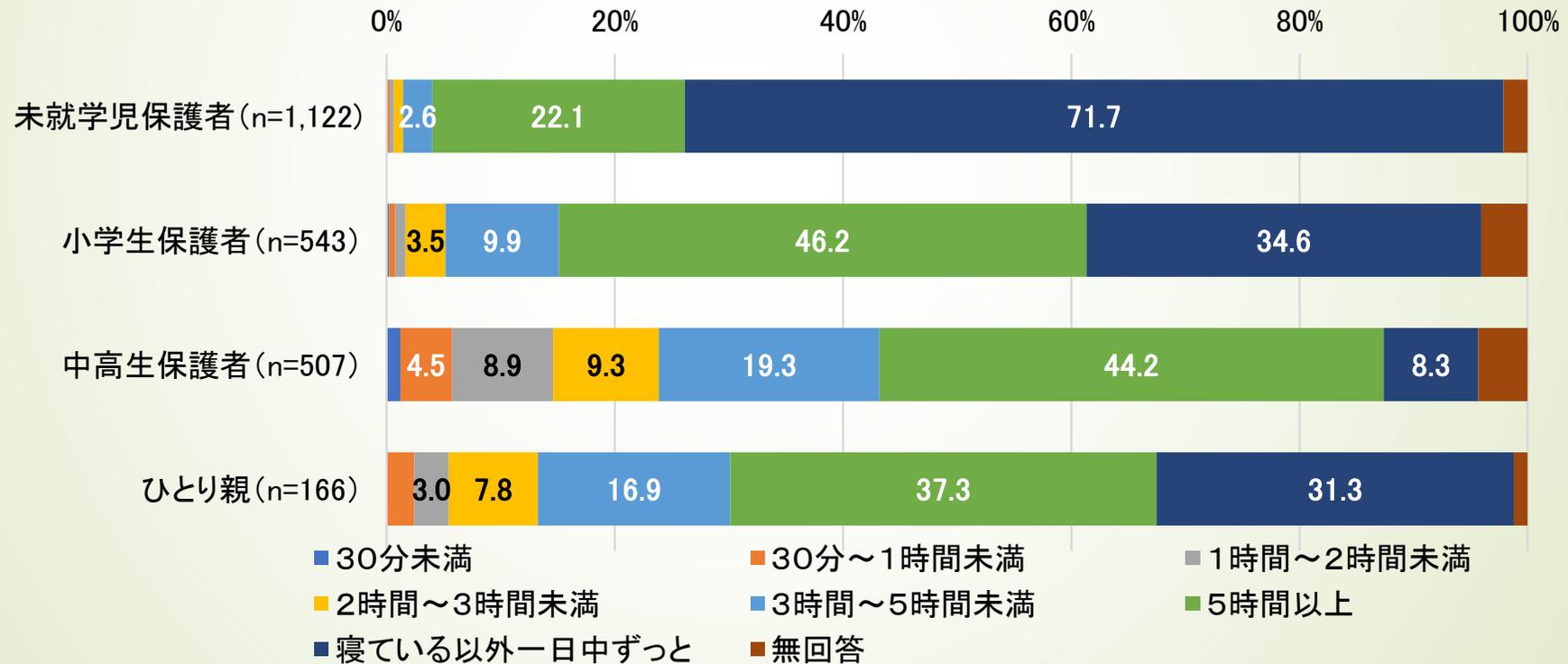
家族と一緒に過ごしていると感じる時間(平日)

- 未就学児保護者は「5時間以上」、それ以外は「3時間～5時間未満」が最も多くなっています。



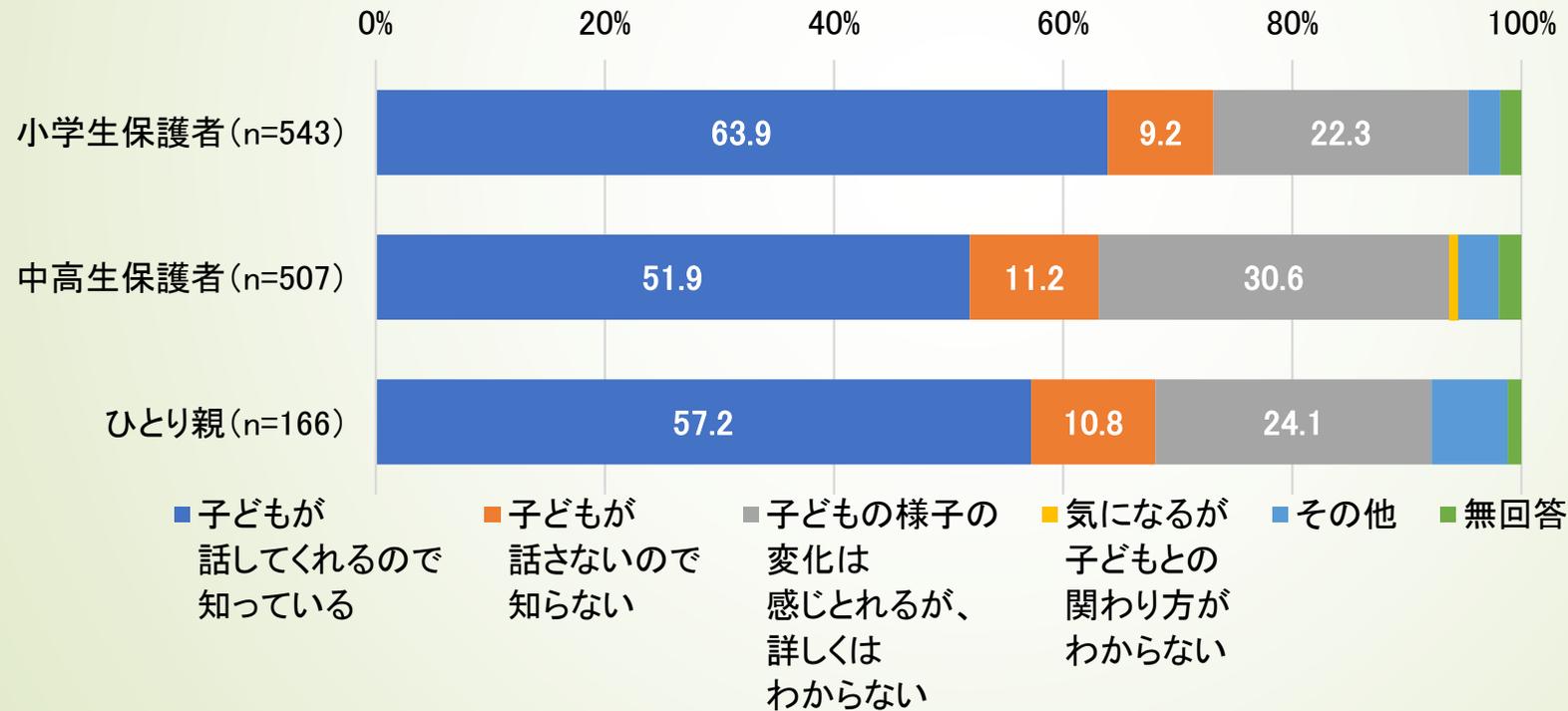
家族と一緒に過ごしていると感じる時間(休日)

- 未就学児保護者は「寝ている以外一日中ずっと」、それ以外は「5時間以上」が最も多くなっています。



お子さんの悩みを知っているか

- いずれも「子どもが話してくれるので知っている」が最も多くなっています。
- 前回調査と傾向はほぼ同じとなっています。

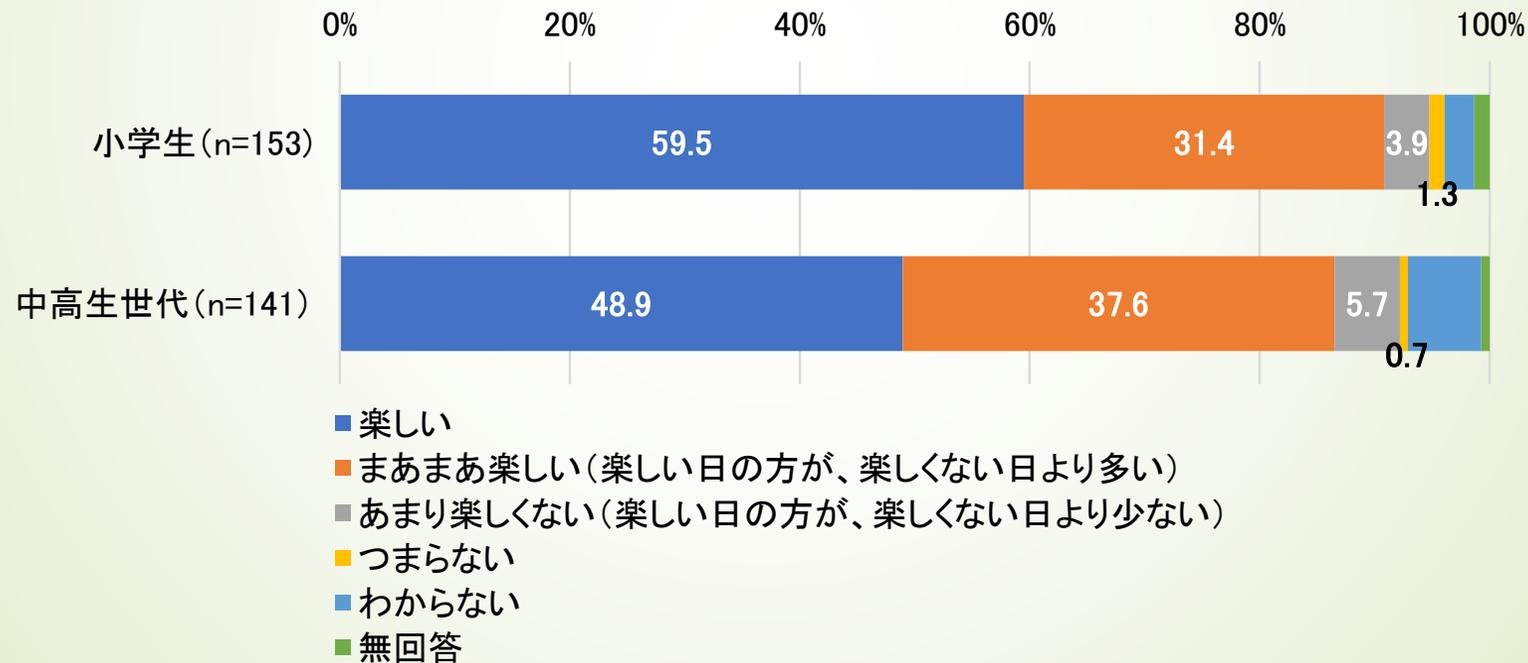


(参考：前回調査)
「子どもが話してくれるので知っている」

小学生保護者	65.0%
中高生保護者	50.7%
ひとり親	53.0%

(子ども)日々どのように感じているか

- ➡ いずれも「楽しい」が最も多くなっていますが、その割合は小学生の方が中高生世代より約11ポイント高くなっています。



(子ども)悩みや困っていること

- 小学生は「悩みや困っていることはない」を除くと、「受験・進路や将来のこと」が最も多くなっています。
- 中高生世代は「受験・進路や将来のこと」が過半数となっています。

()内は%

	小学生 (n=153)	中高生世代 (n=141)
1位	悩みや困っていることはない (45.1)	受験・進路や将来のこと (54.6)
2位	受験・進路や将来のこと (21.6)	クラブ活動・部活動のこと (30.5)
3位	友だちとの関係 (19.0)	学校の授業のこと (29.8)
4位	学校の授業のこと (11.8)	友だちとの関係 (22.7)
5位	好きな人のこと／からだのこと (8.5)	悩みや困っていることはない (14.9)

(子ども)悩みや困っていることの相談相手

- ▶ 小学生は「父母」が最も多く、次いで「学校の友だち」となっています。
- ▶ 中高生世代は「学校の友だち」が最も多く、次いで「父母」となっています。
- ▶ いずれも、「自分で解決する」が3番目に多くなっています。

()内は%

	小学生 (n=153)	中高生世代 (n=141)
1位	父母 (69.3)	学校の友だち (58.9)
2位	学校の友だち (62.1)	父母 (58.2)
3位	自分で解決する (41.2)	自分で解決する (41.1)
4位	兄弟姉妹／学校の先生 (28.8)	兄弟姉妹 (20.6)
5位		学校の先生 (17.7)

(子ども)放課後の過ごし方

- 小学生は「自分の家で家族と過ごす」が最も多く、次いで「公園や近所の空き地など」となっています。
- 中高生世代は「自分の部屋でひとりで過ごす」が最も多く、次いで「自分の家で家族と過ごす」となっています。

()内は%

	小学生 (n=153)	中高生世代 (n=141)
1位	自分の家で家族と過ごす (71.9)	自分の部屋でひとりで過ごす (66.7)
2位	公園や近所の空き地など (37.3)	自分の家で家族と過ごす (58.2)
3位	自分の部屋でひとりで過ごす (32.0)	学校の体育館や校庭、教室 (クラブ活動・部活動を含む) (31.2)
4位	友だちの家 (28.8)	ゲームセンターやカラオケボックス (15.6)
5位	学校の体育館や校庭、教室 (クラブ活動・部活動を含む) (13.1)	ファーストフード店やファミレス (12.1)

(子ども)あったらいいなと思うもの

- ▶ 「ゲームやインターネットができる場所」、「友だちと自由におしゃべりができる場所」が1、2位となっています。

()内は%

	小学生 (n=153)	中高生世代 (n=141)
1位	ゲームやインターネットができる場所 (52.9)	友だちと自由におしゃべりができる場所 (46.1)
2位	友だちと自由におしゃべりができる場所 (50.3)	ゲームやインターネットができる場所 (45.4)
3位	工作や絵を描くことができる場所 (35.9)	静かに勉強ができる場所 (39.7)
4位	室内でスポーツができる場所 (35.3)	室内でスポーツができる場所 (32.6)
5位	サッカーや野球ができる広い遊び場 (28.8)	音楽やバンドの練習室/ サッカーや野球ができる広い遊び場 (17.0)

(子ども)「ここに居たい」と思う場所

- ➡ いずれも、「好きなことをして自由に過ごせる」が最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」となっています。

()内は%

	小学生 (n=153)	中高生世代 (n=141)
1位	好きなことをして自由に過ごせる (77.1)	好きなことをして自由に過ごせる (80.1)
2位	いつでも行きたいときに行ける (71.9)	いつでも行きたいときに行ける (65.2)
3位	色々な人と出会える、 友だちと一緒に過ごせる (57.5)	一人でも過ごせたり、 何もせずのんびりできる (64.5)
4位	一人でも過ごせたり、 何もせずのんびりできる (52.9)	色々な人と出会える、 友だちと一緒に過ごせる (46.1)
5位	新しいことを学べたり、やりたいこと にチャレンジできる (42.5)	ありのままでいられる、 自分を否定されない (37.6)

子育てに関する情報の入手先

- ▶ 最も多いのは、未就学児保護者は「保育園や幼稚園、学校」、それ以外は「近所の人、友人・知人」となっています。
- ▶ 前回調査と比較して、いずれの対象者も「SNSや子育て関連ブログ、掲示板等」の割合が高くなっています。

()内は%

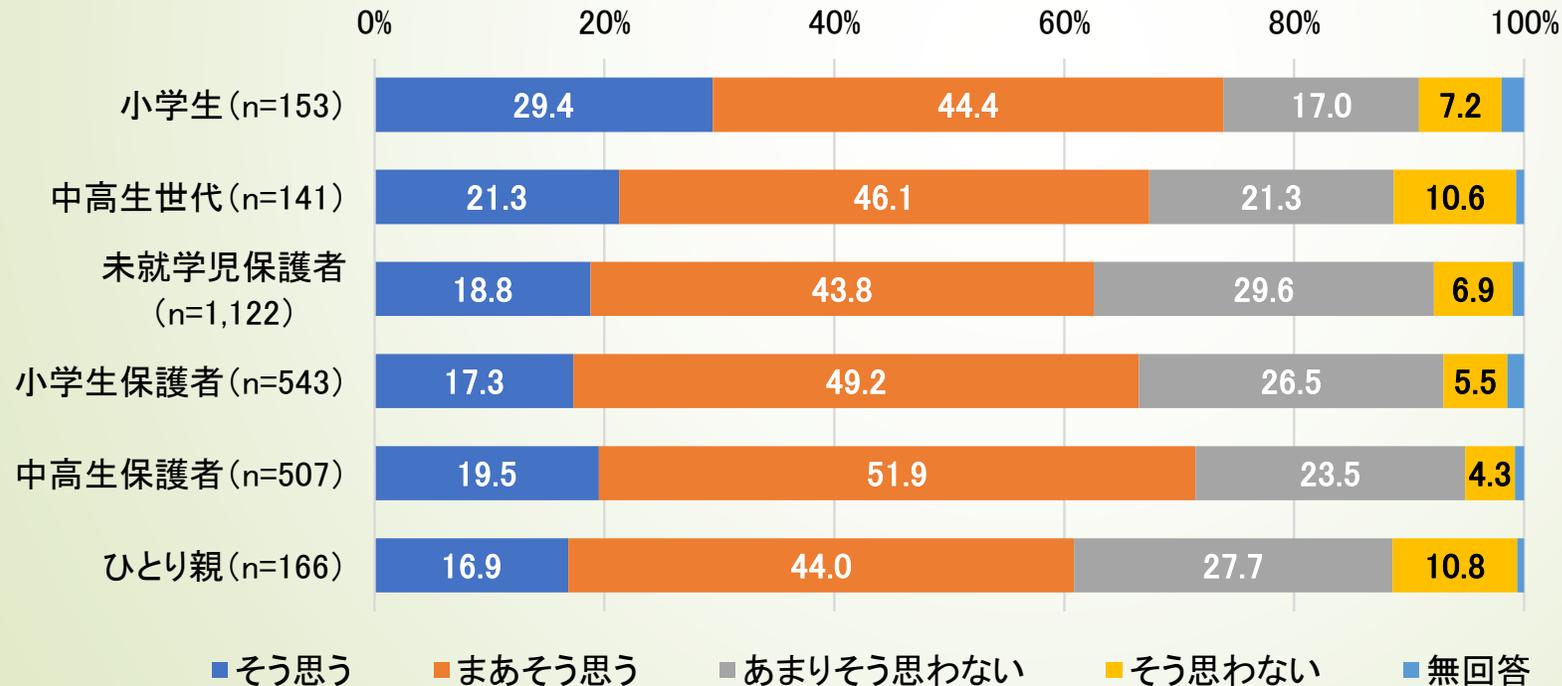
	未就学児保護者 (n=1,112)	小学生保護者 (n=543)	中高生保護者 (n=507)	ひとり親保護者 (n=166)
1位	保育園や幼稚園、学校 (65.3)	近所の人、友人・知人 (67.6)	近所の人、友人・知人 (65.3)	近所の人、友人・知人 (48.8)
2位	SNSや子育て関連ブログ、 掲示板等 (62.1)	保育園や幼稚園、学校 (52.5)	広報たちかわ (46.2)	SNSや子育て関連ブログ、 掲示板等 (42.8)
3位	近所の人、友人・知人 (58.8)	SNSや子育て関連ブログ、 掲示板等 (46.0)	テレビ、ラジオ、新聞 (43.2)	親族(親・兄弟姉妹など) (38.0)
4位	親族(親・兄弟姉妹など) (54.2)	親族(親・兄弟姉妹など) (45.9)	親族(親・兄弟姉妹など) (43.0)	保育園や幼稚園、学校 (35.5)
5位	広報たちかわ (34.5)	広報たちかわ (37.6)	保育園や幼稚園、学校 (41.6)	広報たちかわ (30.7)

(参考：前回調査) 「SNSや子育て関連ブログ、 掲示板等」の割合	
未就学児保護者	51.8%
小学生保護者	36.9%
中高生保護者	29.3%
ひとり親	29.5%

※中高生保護者の「SNSや子育て関連ブログ、掲示板等」は39.6%

自分で「自分のことを好きだ」と思うか

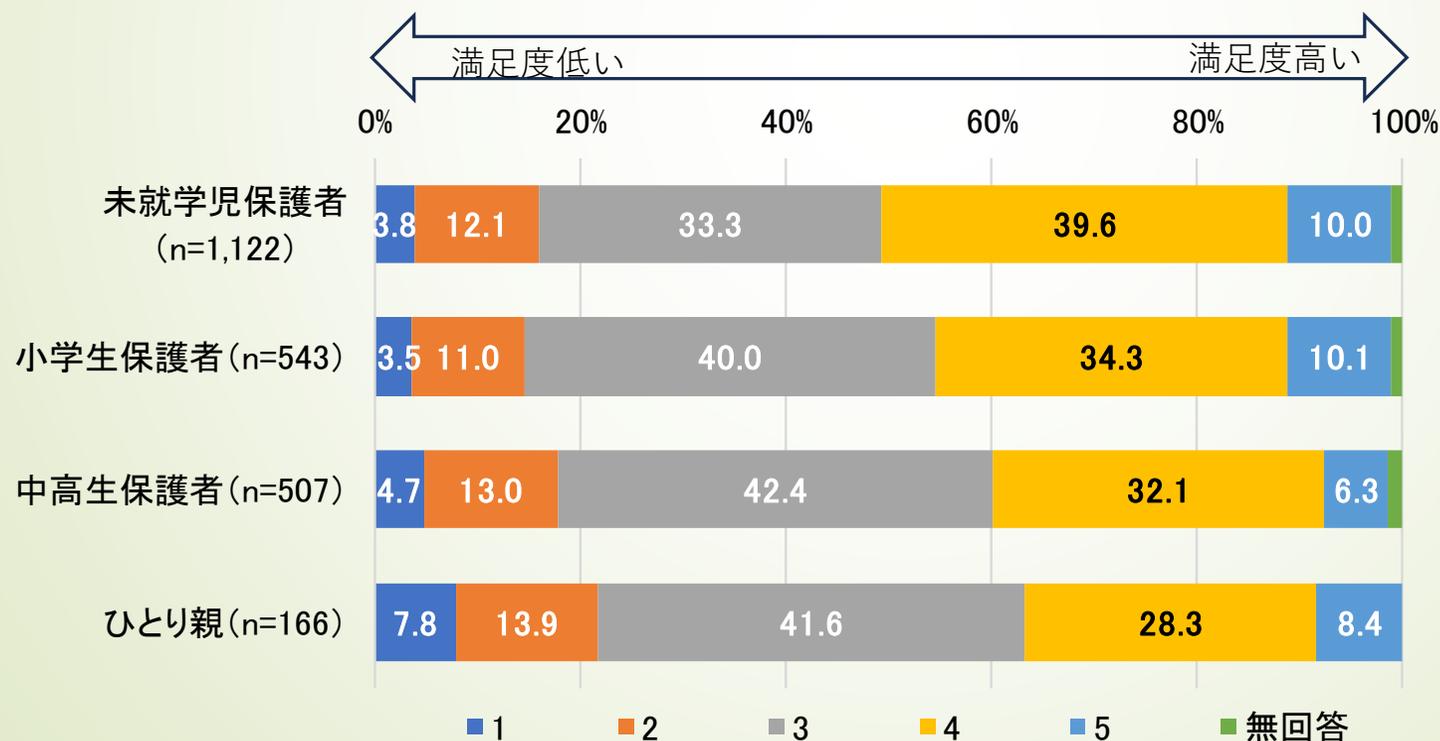
- ➡ いずれも「まあそう思う」が最も多くなっています。
- ➡ 『好きだと思う』（「そう思う」、「まあそう思う」の合計）の割合が、最も高いのは小学生本人、最も低いのはひとり親となっています。



(参考：前回調査) 「そう思う」 + 「まあそう思う」	
小学生	65.2%
中高生	53.9%
未就学児保護者	60.2%
小学生保護者	60.3%
中高生保護者	62.5%
ひとり親	45.6%

地域における子育て環境や支援への満足度

- ▶ 最も多いのは、未就学児保護者が「満足度4」、それ以外は「満足度3」となっています。
- ▶ 満足度4と5の合計の割合が最も多いのは未就学児保護者、最も低いのはひとり親とであり、これは前回調査と同じ傾向です。

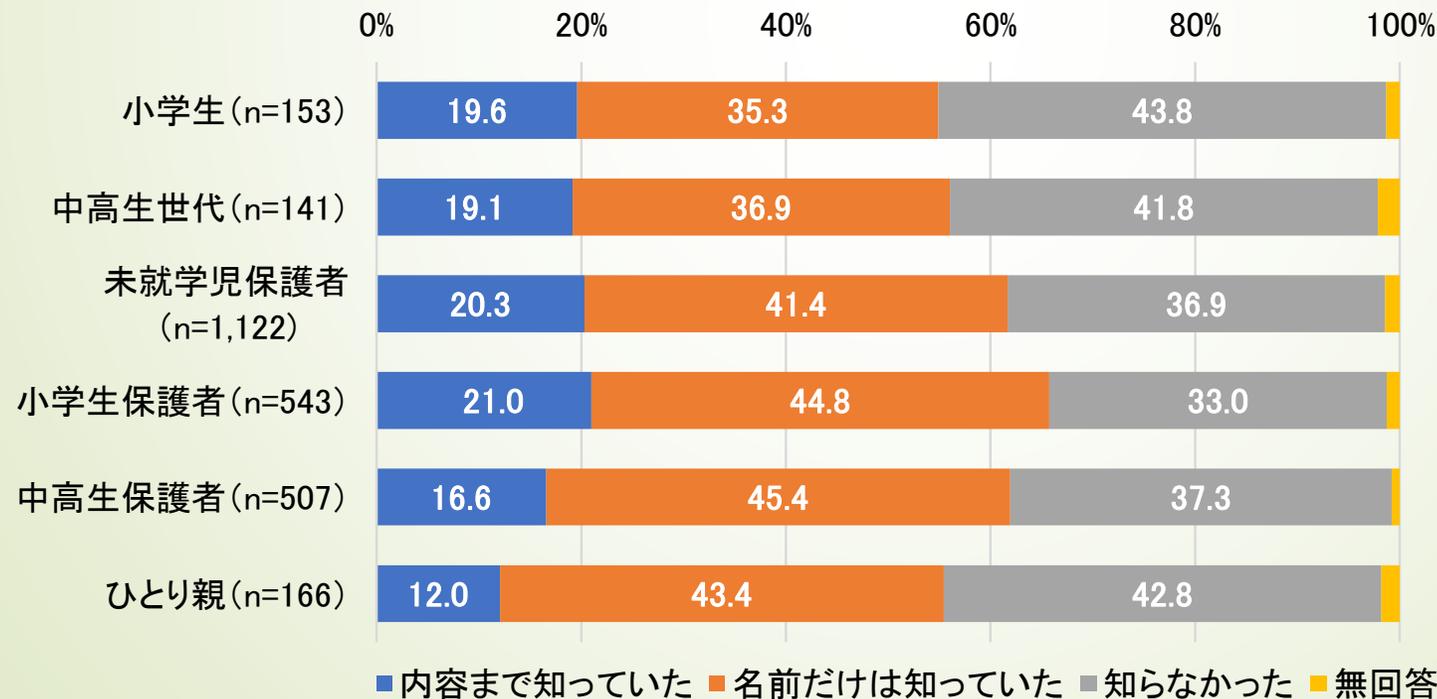


(参考：前回調査) 「満足度4」+「満足度5」	
未就学児保護者	40.8%
小学生保護者	32.6%
中高生保護者	31.3%
ひとり親	30.2%

子どもの権利に関する条約や法律の周知状況(1/3)

- 小学生、中高生世代は「知らなかった」、保護者は「名前だけは知っていた」が最も多くなっています。
- 前回調査と比較すると、「知らなかった」の割合は低くなっています。

＜子どもの権利条約＞

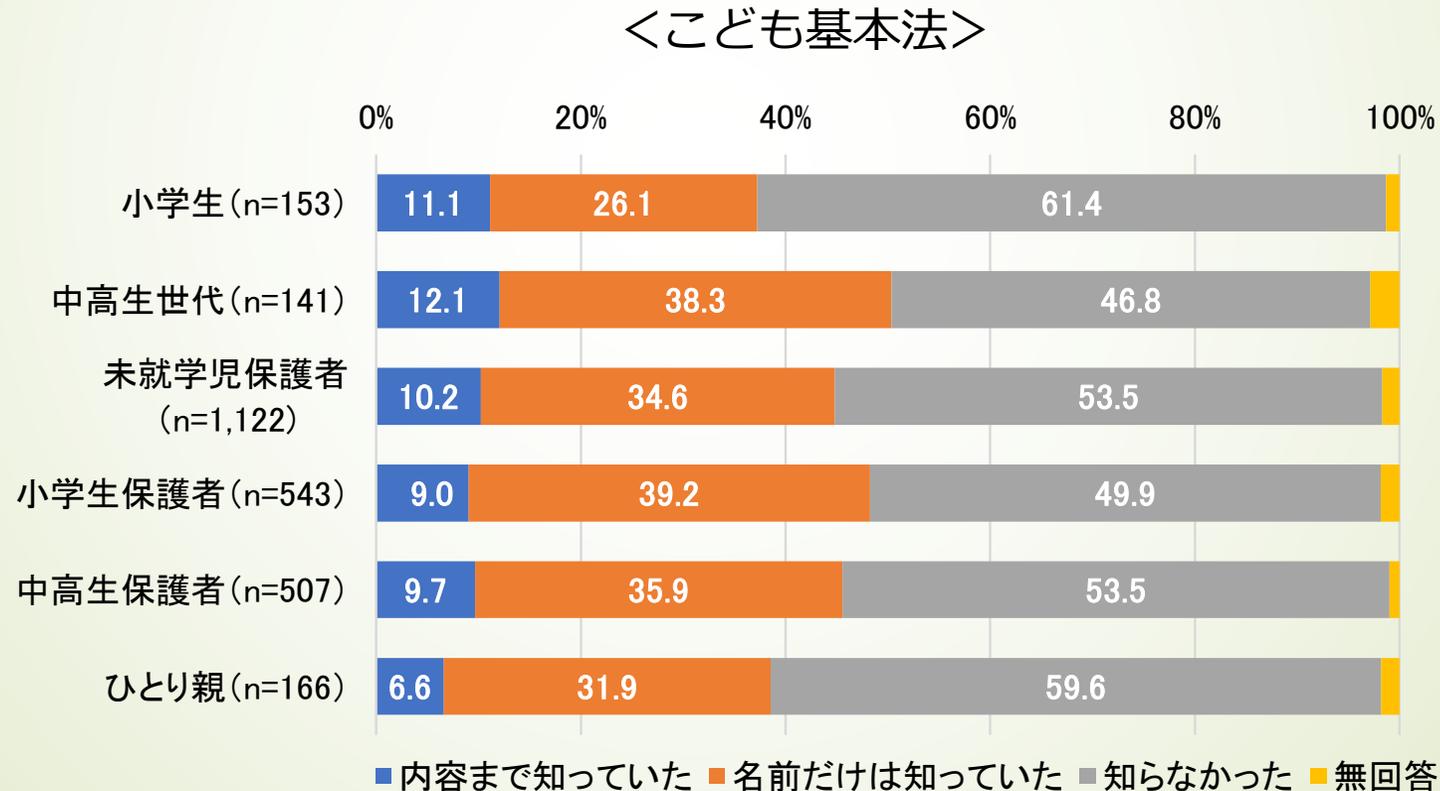


(参考：前回調査)
「知らない」

小学生	74.2%
中高生	71.3%
未就学児保護者	48.2%
小学生保護者	43.9%
中高生保護者	46.1%
ひとり親	49.0%

子どもの権利に関する条約や法律の周知状況(2/3)

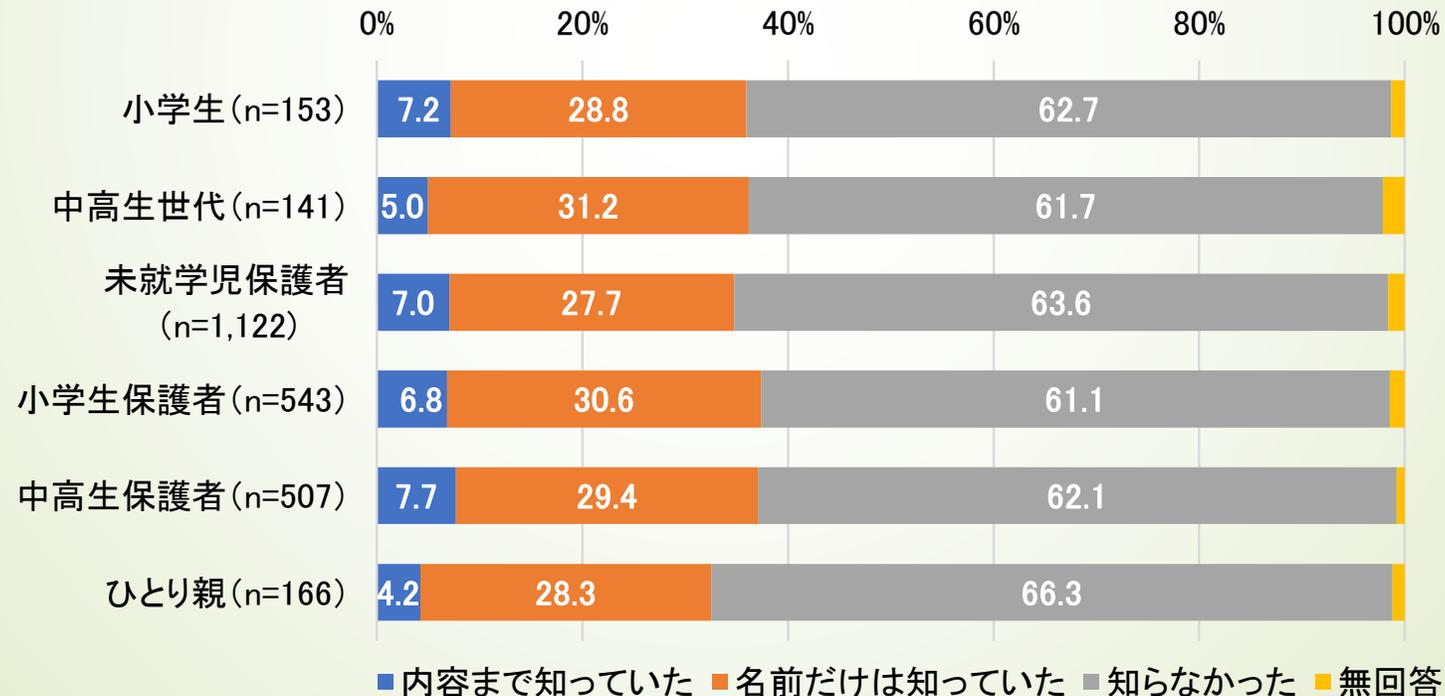
➡ いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。



子どもの権利に関する条約や法律の周知状況(3/3)

➡ いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

〈東京都こども基本条例〉



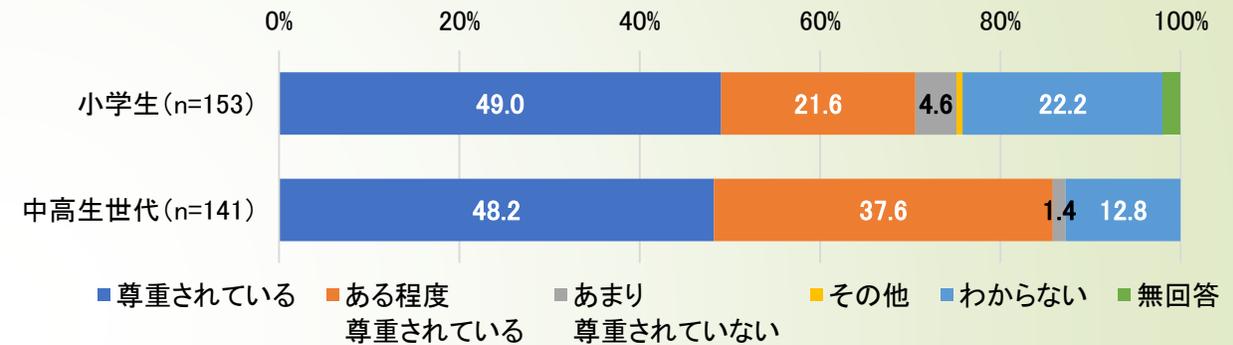
調査結果

(就学前54・小学生保54・中高生保37、ひとり親45、
小学生26、中高生28)

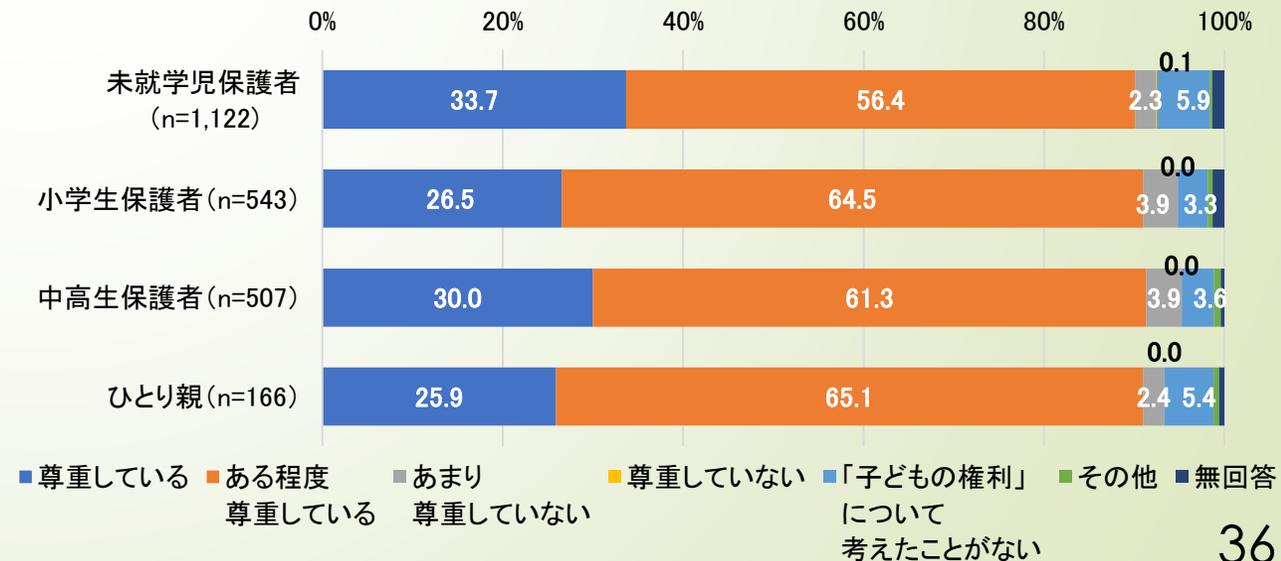
「子どもの権利」を尊重している／尊重されていると思うか

【子ども当事者】

- ▶ 子どもはいずれも「尊重されている」が最も多くなっています。小学生は「わからない」が2番目に多くなっています。
- ▶ 保護者はいずれも「ある程度尊重している」が最も多くなっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、「尊重されている」「尊重している」の割合は高くなっています。



【保護者】



(参考：前回調査) 「尊重されている」	
小学生	27.6%
中高生	19.7%

(参考：前回調査) 「尊重している」	
未就学児保護者	22.1%
小学生保護者	18.3%
中高生保護者	20.3%
ひとり親	21.5%

主な自由意見 (1/2)

未就学児 保護者	<ul style="list-style-type: none">・子育てファーストの街にして下さい！！市長が代わったので期待しています。・小児科の病院、クリニックがもう少し増えるととてもありがたい。・夫には預けられないワンオペのお母さんのための休める場所(子供から離れられる環境)をもっと充実させて欲しい。・経済的に余裕があればまだ出産したいと思うが、子どもが多ければ負担も大きいので給食費の支援だったり教材費の支援だったりがあるととても嬉しい。・市のホームページが面白みも無く見づらい。子育て世代の私たちはSNSなど見慣れている。親しみやすいともっと見る頻度も増え情報も得やすくなるんじゃないかなあと思います。
小学生 保護者	<ul style="list-style-type: none">・給食費の無償化など全世帯への平等な支援にしてほしい・学校のPTAや町内会の役員などいまだに強制的です。子育ての大きな負担です・遊ぶ場所（ボールを使用して）がほぼありません。放課後に校庭開放して頂けると選択肢も増えると思う。・昨年、久しぶりに出産いたしました。高校までの医療費無償化、保育園での紙おむつの持ち帰り廃止など、第一子の育児時に不満だった点が改善されていて、市の取り組みを高く評価できると感じました。・地域との関わりは希薄になりますが、大人も子どももコミュニティが苦手な人が多くいると思います。24時間、ネットで相談できる場があると良いしそれを広めることが必要と考えます。
中高生 保護者	<ul style="list-style-type: none">・各家庭への支援より先生へ支援してほしい。給料をあげて良い人材を確保してほしい。・中学生～高校生はとにかく教育関係にお金がかかるので、学校以外の施設で勉強を見てくれる場所や塾費用の補助が欲しい・不登校の子たちが生き生きできる場所づくりも必要。・子どもに対する支援において所得制限をかける事は、辞めて欲しいです。所得制限は、子どもにとって差別であり、学校や幼稚園でいじめの対象となる場合もあります。子供の権利は、親の収入に関係なくどの子供にも平等に与えられて欲しいです。・今回のアンケートをきっかけで、子どもの権利条約を初めて知りました。知れて良かったです。

主な自由意見 (2/2)

ひとり親	<ul style="list-style-type: none">・子が小さい時の支援より、大きくなってからのの方がお金がかかる事、低所得者の現実もっと知ってほしい。ギリギリ非課税じゃないのが1番大変。・子供の成長によって困りごとが変わってくると思うので、その時々合った情報を受けとれるように、色々なメディア（紙・SNSなど）で情報発信をこれからもしていただけると助かります。・子育ての中心が女性なので、男のひとり親はなかなか気軽に親同士で情報交換もできない。・気楽に相談できる場所があるのなら知りたいです。一人で育児をしていると、何が正しいのか分からなくなることがあります。・病児保育の1日の定員が少なすぎて預けられた事がない。又、8:30~17:30だと朝は遅刻、夜は早退しないといけないので時間拡大希望。
小学生	<ul style="list-style-type: none">・生き物がたくさんいて自然豊かな公園があると良いと思います！！・一つの場所で、色々なことができる施設があったらいい（みんなが使える遊び場・読書・勉強・スポーツ・屋内商店街とか）。・もっとボール遊びのできる公園を増やしてほしいです。
中高生世代	<ul style="list-style-type: none">・発達障害児への教育をもっと充実してほしいです。・公園でボールを使うと、うるさい！と言われたりして使いづらいので、バスケコートができて欲しい。・テニスコート、ダンススタジオの利用法が学生には厳しい。もっと簡単にネットで予約できたらいいです。・立川市の中央図書館をもっと快適に過ごせるようにしてほしいです。例えば、子どもと大人が座るスペースを一部分だけでも良いので区切ってほしいです。座席が空いているのに関わらず、中・高生専用の席に座っている大人を時々見かけるため。